

令和7年度第1回盛岡地域福祉センター 地域密着型通所介護事業運営推進会議報告書

1 日時

令和7年9月25日（木）午後2時～2時30分

2 場所

盛岡地域福祉センター 会議室
盛岡市手代森14地割16番地89

3 出席構成員

(1) 利用者

A

(2) 盛岡市の職員又はセンターが所在する地域を管轄する地域包括支援センターの職員

B（盛岡市保健福祉部介護保険課事業所指定係）

(3) センターの管理者及び従業者

ア C（管理者 所長）

イ D（従業者 副所長）

ウ E（従業者 生活相談員）

エ F（従業者 生活支援員）

(4) その他センターの管理者が必要と認めた者

なし

4 欠席者

(1) 利用者の家族

G

(2) 地域住民の代表

ア H（手代森ニュータウン）

イ I（手代森ニュータウン）

(3) 地域密着型通所介護事業について知見を有する者

J（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）

5 内容

(1) 開会

(2) 構成員紹介

(3) 所長あいさつ

本日はお忙しい中、また、あいにくの雨の中、当センターの令和7年度第1回運営推進会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

あいさつに代えまして先ほどお配りしました、令和7年度事業計画の概要により、センターの状況について、ご説明申し上げます。こちらは、5月26日発行しましたセンターのお便り『微笑』第371号と一緒に、利用者の皆様、地域の皆様、関係機関等に配布したものでございます。

最初に施設の理念ですが、「盛岡地域福祉センターは、地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた福祉サービスを提供し、地域住民の福祉の増進を図るように努めます。」というものでございます。また、運営方針として、「障がいのある人もない人も、高齢者も若い人もこどもも、年齢や性別にかかわらず、お互いの個性や尊厳を認め合い、支え合いながら共に生活するソーシャルインクルージョンという考え方に基づき、支援を必要とする人やその家族が、住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるように、地域住民が自発的に援助を行う相互に結び付いた地域共生社会の実現を目指します。」とし、以下4つの項目を設けております。短期の経営計画としまして、事業継続計画に基づいた実効性のある体制など、8つの項目に取り組んでおり、毎月、進捗状況の確認を行っております。

裏面の主要事業では、9月8日から19日まで、産直買い物ドライブとして、紫波町のあかさまで出かけて参りました。利用者の皆様から大変喜ばれております。また、表の下に記載しておりますが、定例行事としまして、利用者懇談会の際、ご家族からご提案のありました、訪問理美容を新たに取り入れ行っており、こちらも大変喜ばれております。当センターの特長でもあります、理学療法士によるリハビリ訓練については、新たにスカイウエル、ヘルストロンと言えわかり易いでしょうか、2台設置し、通所介護事業と生活介護事業の利用者の皆様にご利用いただいております。

最後に、職員体制について、配置基準を満たしていますが、常勤看護師を1人増やし、医療支援体制を厚くしております。なお、生活介護事業に係る生活支援員については、応募があったのですが、同性による支援等を考慮し、現在、女性の生活支援員を募集しております。パートの生活支援員を増員するなど、引き続きサービスの向上に努めて参ります。

本日は、地域密着型通所介護について、皆様の忌憚のないご意見を賜ればと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

(4) 協議

活動報告について

- ア 利用状況
- イ 要介護別認定区分
- ウ 活動報告
- エ 苦情受付
- オ 事故その他報告すべき事項
- カ 欠席者から事業所に対する評価・要望・助言等の紹介
 - ・ 利用者の家族 G構成員から

毎月の行事も色々あって本人も楽しみにしているようです。移動販売も自分の食べたい物を買ってきておいしそうに食べています。これからもつづけていただければと思います。又送迎していただく時も、職員の皆さんにやさしく声をかけてもらい、私も安心して送り出す事ができ本当に感謝です。ありがとうございます。これからも宜しくお願

い致します。

- ・ 介護支援専門員 J 構成員から

いつもお世話になっております。利用者様が長きにわたりご利用され、お世話になっております。これからもよろしくお願い致します。

(5) 質疑応答

ア センター：Aさんから前もってお話しを伺っていただきましたので代わりにお伝えします。ここは楽しいよってというお話しをしてくださいました。Aさんは特に歌が好きで午後活動では必ず歌い、以前は結構大きな声で歌っていましたが、今は聞いたりすることも楽しみだと話されてきました。活動も様々な行事があるので退屈しないというか飽きないとのこと。センター内の行事だけではなく、外出行事も最近は多くなり、それも楽しみの一つだと話してくださいました。

イ B構成員：選択行事とはどのようなものですか。

センター：選択行事はカラオケのほかにゲーム、麻雀等です。女性はマニキュアを塗ることもあります。自分がやりたいものを選ぶという活動になっています。

ウ B構成員：理髪の要望があったとのことですが、要望は多かったのですか。何名くらいですか。

センター：利用者懇談会で要望されたのはご家族の一人からでしたが、その要望をもとに他の利用者、ご家族の皆さんに伺ったところ、ぜひ利用したいとの話がありましたので、業者に相談し4月から始めることができました。

エ B構成員：利用料金はいくらですか。

センター：カットと顔そりは3,000円で、カットだけですと2,400円です。訪問理容を行っている業者を数か所調べて、近くの安い業者が見つかりました。

オ B構成員：近くの理髪店ですか。

センター：となんという訪問理美容店です。

カ B構成員：介護度は、利用者、新規利用者ともに上がっていますか。

センター：介護度が高い方は訪問をメインにされるなどしています。4月には2人の方が亡くなるなど利用者数は落ちてきていますが、要介護5の方も数名います。

B構成員：介護度5の利用者が数名いる中で、外出行事なども行っているのは珍しいことだと思います。

キ B構成員：移動販売は月に何回くらい行っていますか。

センター：2ヵ月に3回くらいの割合で行っています。

(6) その他

特になし

(7) 閉会